

平成29年2月9日定例教授会議事抄録

出席者

高見澤所長

黒田、菅、園田、田中、長澤、中島、名和、平勢、真鍋の各教授

青山、李、池亀、額定其勞、小寺、鍾、古井、森本の各准教授

海外渡航者

高橋教授、佐藤教授、米野准教授

議事

1月19日開催の定例教授会の議事抄録を承認した。

通知事項

1. 教員等の公募 なし
2. 各種研究助成等の募集について 資料P7のとおり2件。

報告事項

3. 所長報告

高見澤所長より、以下の会議等について報告があった。

1) 総長室総括委員会（1月24日）

文書館についてヒアリングがあり、その中で、この組織が時限で良いのかということとを議論する必要があるのではないかとの意見があり、今後検討される可能性があるとの報告があった。

2) 総長選考会議WG（1月24日）

3) 研究科長・学部長・研究所長合同会議（1月24日）

① 平成29年度以降の博士課程学生に対する経済的支援

資料P9～12に基づき、新たなTA制度の開始などを含めた平成29年度以降の博士課程学生に対する経済的支援について報告があった。

② 指定国立大学法人制度への対応

指定国立大学法人制度へ東京大学から申請する予定であるとの報告があった。

③ 東京大学北京代表所の閉所

東京大学北京代表所について、平成29年6月末期限の事務所登記を更新せず、登記抹消手続きを行い閉所するとの報告があった。

④ 創立140周年記念における事業計画

資料P13に基づき、創立140周年記念における事業計画について報告があり、併せて、環境整備などへの協力を願いたいこと、当研究所で開催するイベントにおいても、140周年記念にからめて実施することを検討したいとの説明があった。

また、このことに関連して当研究所の80周年記念（2021年）についても、協力願

いたいとの要請があった。

⑤ 寄付講座及び社会連携講座等の設置等

資料P 14～17に基づき、寄付講座及び社会連携講座等の設置等について、4月から園田教授が情報学環から当研究所へ配置換となることに伴い担当教員が変更となること等報告があった。

⑥ セクシュアルハラスメント及び妊娠・出産・育児又は介護に関するハラスメントの防止

資料P 18～20に基づき、セクシュアルハラスメント及び妊娠・出産・育児又は介護に関するハラスメントの防止について、法改正があったこと及び本学の対応について報告があった。

本件は、すでにメールにて資料を配信しているので各自確認していただきたいこと、当研究所でも改正を踏まえた内容の研修会の実施を考えていること、当研究所内に置いているハラスメントに関する相談窓口（教職員名）について説明があった。

⑦ 平成27事業年度財務レポート

回覧資料に基づき、平成27事業年度財務レポートについて報告があり、財務に関わる業務を行う教員以外も組織の財務状況についても、関心をもっていただきたいとの依頼があった。

4) 総長室総括委員会（2月7日）

5) 臨時教育研究評議会（2月7日）

6) 拡大入試監理委員会（2月7日）

資料P 22に基づき、1月14日（土）および1月15日（日）に実施された大学入試センター試験について、当研究所からは事前説明会へ該当者が全員出席であったとの報告があり、センター試験関連業務に従事した教員への謝辞があった。また、2月25日（土）および2月26日（日）に実施される東京大学の2次試験（前期日程）についても協力願いたいとの要請があった。

7) 研究科長・学部長・研究所長合同会議（2月7日）

① 平成29年度理事等の分担

資料P 24～25に基づき、平成29年度理事等の分担について報告があった。

② 役職手当の新設及び管理職手当の在り方

資料P 26～30に基づき、役職手当の新設及び管理職手当の在り方について報告があった。今後検討されている附置研究所の研究部門の長の取扱いについては、当研究所では部門の長よりも責任度合いの高い担当業務があることを申し出る考えがあるとの説明があった。

③ 就業規則等の改正

資料P 31～34に基づき、就業規則等の改正（案）について報告があった。

④ 兼業に関する取扱い等の一部改正について

「本学教員の社外取締役兼業の審査方法等について」、「東京大学教員の役員等兼業に関する取扱いについて」、「副学長等が役員等兼業を行おうとする場合の許可基

準の運用について」が、一部改正されるとの報告があった。

⑤ 平成28年度東京大学新任部局長等研修の実施

平成29年3月13日(月)に、平成28年度東京大学新任部局長等研修が実施され、当研究所からは次期所長候補の教員が出席する予定であるとの報告があった。

⑥ 国立大学法人会計セミナーの実施

国立大学法人会計セミナーが実施されることについて説明があり、参加について呼びかけがあった。

8) 予算委員会(2月7日)

資料P35~37に基づき、平成29年度東京大学収入・支出予算(案)および第3次配分提案(総長裁量経費で対応するもの)等について報告があった。

9) 研究所長懇談会(2月7日)

10) 成均館大学校・京都大学人文科学研究所共催合同シンポジウム

1月20日に京都大学で開催された成均館大学校・京都大学人文科学研究所共催合同シンポジウムについて報告があった。併せて、今後は隔年で開催することとなるとの説明があった。

11) 附属図書館長との面談

1月23日に当研究所次期所長候補者と3者で顔合わせを行い、アジア研究図書館についての説明を受け、その後の意見交換について報告があった。

12) 外部評価委員会の開催について

2月3日(金)に外部評価委員会を開催したとの報告があり、3月に評価内容を冊子にまとめ新年度早々に作成する外部評価委員からの指摘事項、要望等については4月以降から検討を始める予定であるとの説明があった。

13) 教員の海外渡航について(報告)

資料P38~39のとおり7件を承認した旨報告があった。

14) 非常勤講師・委員等の応嘱について

資料P40~41のとおり委員等2件、非常勤講師等4件を承認した旨報告があった。

15) その他

特になし。

4. 各委員会報告

1) 財務委員会

名和委員長代理より、資料P42~44に基づき、今年度の予算執行状況、預託金の申請状況等について報告があり、個人・委員会とも、計画的な予算執行に協力いただくよう要請があった。

このことに関連し高見澤所長から、12月15日の教授会で通知した会計関連書類の提出期限についても協力いただくよう要請があった。

引き続き、名和委員長代理から、資料P45に基づき、教員著作物の可視化と国際

発信に関する部局広報活動強化費の交付については、部局配分額を該当教員へ分配する取扱いとしたとの報告があった。

2) インフラ委員会

平勢委員長代理より、4月採用予定の教員に割り当てる研究室に机と書棚がないことが判明したため、急遽、別の部屋のものを移して対応したが、書棚は無い状態が続いているとの報告があった。

これを受け高見澤所長から、安全上の問題から書棚は必ず壁に固定していただきたいこと、基本的な研究環境の提供のため、採用までに書棚8本、机、椅子を整えるよう引き続き検討を続けていただきたいとの要請があった。

また、7月1日付けで採用される著名外国人教員の2名分の研究スペースについても、調整を進めていただきたいとの要請があった。

3) 研究企画委員会

特になし

4) 東洋学研究情報センター委員会

平勢副センター長より、センター叢刊の1冊分について再募集を行うとの報告があった。

5) 図書委員会

特になし

5. その他

特になし

審議事項

6. 訪問研究員の受け入れについて

該当教員に代わり高見澤所長から説明があり、資料P 47のとおり1件が承認された。

7. 総務委員会内規（案）について

高見澤所長より、資料P 48に基づき総務委員会内規の制定について提案があった。前回教授会で制定した覚書やその他の内規において総務委員会の役割を定めたことや、今後も重要な審議を行うことが想定されることから、総務委員会の定義を明文化するものであること、内容は現状の運用に沿ったもので変更を加えた点等はないことの説明があり、審議の結果、承認された。

8. 特任研究員の採用について

高見澤所長から、回収資料に基づき、5名の採用（更新）候補者について説明があり、承認された。

また、4月1日付けでの特任研究員（短時間勤務有期雇用教職員）の採用および更新の希望がある場合は、すでに周知している通知に従い期日までに申し出るよう要請があった。

9. 兼業の手続きについて

高見澤所長から、資料P 49～52に基づき、兼業の手続きについて、本年度は学内

規程や運用の変更があったこともあり、所長や事務へ問い合わせが増えたことから手続きの流れをまとめた資料を作成したとの趣旨説明があり、併せて手続き及び手順についての提案があり、承認された。

これを踏まえ、勘違いによる手続き漏れが起きないように、自身の兼業が許可されている条件や許可を得るための手続きについて必ず確認していただき、ガバナンスの徹底に協力願いたいとの要請があった。

10. 教員の兼務について

高見澤所長から、

① 下記の教員の兼務に係る照会がある旨説明があり、承認された。

(1) 大学院総合文化研究科：中島教授

(2) 大学院総合文化研究科附属国際日本研究教育機構：中島教授、佐藤教授、鍾准教授

(3) 日本・アジアに関する教育研究ネットワーク（ASNET）：池本教授、徐助教

なお、ASNET に関しては、副ネットワーク長を当研究所教員が担当する慣例となっており、現在調整中であるとの補足説明があった。

② 来年度、理事に就任する羽田教授について、本研究所教員として兼務いただきたいとの提案があり、承認された。

11. その他

田中明彦教授から3月31日をもって退職したいとの願の提出があったとの報告があった。

以上